



校長室だより2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和8年1月16日

第31号

去る13日（火）は暴風警報を受け、全校（学童保育利用者を除く）徒步での下校を取りやめる措置をとらせていただきました。保護者の皆様には緊急の安全メールに対応していただき、お迎えに来ていただきありがとうございました。また、体育館下ピロティ前のロータリーでは車の一方通行にご協力いただきました。おかげで大きな混乱もなく全校児童を午後5時前までに保護者に引き渡すことができました。

なお、今回はこれまでと方法を変え、全校児童が1階ランチルームで待機することとしました。結果的に、お迎えに来られた方の確認と子供の呼び出しが短時間でスムーズに行えました。今後もこの方法で全校児童の保護者引き渡しができそうです。教職員にとってもよい勉強となりました。

夢と仕事についてあれこれ考えました

★本当はたくさんある？「ぼくの夢・わたしの夢」

15日（木）の午前中に、6年生「ぼくの夢・わたしの夢」のラジオ収録が行われました。毎年恒例のこの企画は、ラジオ・ミューさんが開局以来今年で28回目となるそうです。今年も卒業を控えた6年生がマイクの前で思い思いに夢を語りました。

私は事前に21名全員の話す原稿を読ませてもらいました。各自の持ち時間が約30秒、字数も200字以内なので、内容は一つに絞り込んである子がほとんどでした。それはそれでもちろんいいと思います。ただ、それぞれの心の中にはきっと、単純に一つには絞りきれないたくさんの夢があるのだろうなとも思います。私も子供の頃、そして十分な大人になった今でも、夢がたくさんあります（大人げないですかね…）。

★夢とは自分が大好きなこと、やってみたいこと

「将来どうしたいの？」と聞かれると、職業のことを考えることが多いと思います。私自身、中学校の教員として進路指導をしていたときは、そうした思考に偏りがちでした。しかし、今この歳になって確信するのは、「夢と仕事はイコールではない」ということです。

「夢とは自分が大好きなこと、やってみたいこと」と考えれば、夢をたくさんもつことができます。夢を仕事にしていく生き方もあるでしょうが（※下段で取り上げます）、「夢で食べていこう」とさえ思わなければ、自分の興味や好奇心を生かしてたくさんの夢が生まれますし、たいていの夢は叶えることができるのではないでしょうか。

★仕事とは人の役に立つこと、誰かを喜ばせる夢を見ること

一方、夢を具体的な仕事（職業）に結びけるときは「働く→はた（傍）をらく（楽）にする→人の役に立つ」という視点から考えてほしいと思います。

アンパンマンの作者やなせたかしさんは「人生は喜ばせごっこ」という名言を残しておられます。「なぜその仕事をしたいと思うのか」を考えたときに、自分以外の人の笑顔や幸せが思い浮かぶと素敵です。

もちろん、仕事をすることは自分自身の経済的な自立に繋がるという大事な一面がありますが、「大金持ちになること」だけが目的になると、金儲けのためなら何でもしていいのだと、犯罪に手を染めるということにもなりかねません。また自分のお金儲けのためだけというのはどこか空虚です。それは単なる「稼業」というものであって、「仕事：働くこと」とは意味が違うと思います。

子供たちの中には、とりあえず夢とは切り離して将来の仕事を選ぶ子もいれば、夢を将来の仕事につなげていく子もいるでしょう。いずれにしても、「仕事は人の役に立つこと。人を喜ばせ、笑顔にすることにつながること」と考え、心を込めて目の前の仕事に向き合ってほしいと思います。それは誰かを喜ばせる夢を見るのと同じことだと思います。

「ぼくの夢・わたしの夢」村椿小学校 の放送は2月2日(月)12:35~12:54 再 18:30~18:49です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています！

校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします

切り取り

できればお名前or児童名()



学級紹介は教室で収録しました。



14日（水）のHappy Englishも将来の夢についての発表でした。



楽しく学んだ金銭教育の出前授業

15日(木)、5年生が金銭教育の出前授業を受けました。今回講師としてこられた富山第一銀行総合企画部サステナビリティ推進室の牧野和則先生は県西部の公立小学校の元校長先生です。詳しくは学校HPも見ていただきたいのですが、子供たちは牧野先生の巧みな話術と効果的な資料を駆使した授業に引き込まれるようにして、楽しみながらお金との関わり方について考えました。

百戦錬磨の達人の授業に学ぼうと、若手の担任の先生方も授業を参観し、メモを取っていました。

また、最後に挨拶をされた富山第一銀行黒部支店の武隈さんが村椿小学校の卒業生だということに子供たちはびっくり！ 「一期一会」の、楽しくためになる授業となりました。

シリーズ「教室におじゃまします」1月14日(水)4年算数科の巻

今月末のチャレンジテストに向けての練習を前半に行いました。時間いっぱい問題に取り組んだあとは皆で答え合わせをしっかり行いました。本番に向け、間違いやすいところは要復習ですね。

後半は、今日からの新しい学習です。教科書等は一旦机の中にしまいます。

久保先生が用意した用紙には、「・(ドット)」がマス目のように均等に並んでいます。この「・」を各自が縦横自由に線つなぎ、思い思いの図形を作り、切り取りました。ここまでミステリー・ツアーように先生の説明に従いながらの作業です。

ここでようやく先生が問題を出します。「班の中でどの図形が一番大きいでしょうか。そして、それはどうしてそう言えるのでしょうか。」

どの班も皆で図形を見比べて考えます。今回先生が用意した絶妙な問題が子供の興味・関心を高め、話し合いが積極的に行われていました。

次に、発表したい班から順に、図形を示しながら説明しました。説明の言葉の中には、**たての長さ** **横の長さ** **小さい□が何個分か数えた**

など、ポイントを押さえたものが多く、算数的な思考がよくされていることが分かりました。子供たちは本当によく考えていました。

少し授業時間を過ぎてしましましたが、子供たちは最後まで集中してほかの班の発表も聞いていました。

次回はこうしたさまざまな図形の面積を計算式で求めて比較する学習に移るようです。

<おまけのひとりごと>牧野和則先生には前任校でも前々任校でも出前授業をしていただきましたが、以前県教委に勤めていたときからお世話になっている先生であります。昨年ある会合で偶然再会し、「そういえば村椿小学校でも金銭教育をしなくては」ということで今回の授業となりました。元気いっぱいの5年生を「君たちにはすごい力があるねえ」「君は将来大物になるね！」などとたくさんほめていただきました。子供たちはすっかり牧野先生のとりこに…！ 男子数名は玄関までお見送りをしていました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています！
校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします 切り取り できればお名前or児童名()